

**第29回茨城県春季マスターズ短水路水泳競技大会
兼日本スポーツマスターズ予選会 二次要項**

茨城県水泳連盟

1. 参加状況

参加団体数 25 団体 参加選手数 169 名(女子 61 名 男子 108 名)
個人種目数 309 種目 (女子 123 種目・男子 186 種目)

2. 日程

コーチ集合・打合せ	7:20	/1F 入り口で行う。
場所取り・準備	7:50	
選手入場	8:00	/2F 入り口
アップ開始	8:10	
アップ終了	9:25	
開始式	9:45	/開始式は通告で行う。
競技開始	10:00	

3. 選手控え場所について

- (1) 選手控え場所は、2F エントランスとし、それ以外の場所は控え場所として使用できない。
- (2) 2F エントランスは各チームのストレッチエリアとする。ストレッチに必要な最小限で場所取りをすること。
- (3) チームのエリア指定を行う。エリア割り振りはホームページに掲載する。
- (4) サブプール観客席はコーチエリアとする。選手は、コーチとレース前後の会話のために入ることができるが、長時間滞在しないようにすること。
- (5) 他チームの場所で控えることのないようにすること。
- (6) 割り当て場所内で選手が密集しないよう、個人ごとにマットを持参し、間を確保して利用すること。マスクを外して会話をする、密集してスマホを見るなどをしないよう、所属引率者が選手に指導すること。
- (7) 食事は、選手控え場所もしくは屋外で、人との距離を保ち会話を控えて行うこと。

4. 健康チェックシート提出について

- (1) 選手・引率者・競技役員は、健康チェックシートを提出すること。健康チェックシートの提出がない場合は、大会に参加できない。
- (2) 健康チェックシートは、茨水連ホームページからダウンロードできる。
- (3) 競技役員は、役員受付時に提出すること。
- (4) 引率者・選手は、引率者が全員の「健康チェックシート」を確認してとりまとめ、役員受付に提出すること。

5. 入場者の制限（無観客開催等）について

- (1) 今大会は無観客で開催する。
- (2) 競技に参加する選手、引率者、大会関係者以外は、会場（ロビー含む）に入場できない。

6. 競技方法

- (1) 本競技会は、（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 男女別種目別に 8 レーンにて行う。
- (3) 招集は、競技開始 10 分前から行う。混雑を避けるため、早く来過ぎないようにする。招集の際に水着の FINA マークの確認を行う。
- (4) スタート台は、バックプレート台およびバックストロークレッジを使用する。
- (5) 背泳ぎ以外はオーバーザトップ方式で行う。
- (6) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。記録が掲示されなかった時は、折返し監察員が確実にタッチしたと認めた場合、計時員の記録を採用する。
- (7) 退水は、競技成立後、競技役員の指示で退水する。1~4 レーンで泳いだ選手は、1 レーン側から退水する。5~8 レーンで泳いだ選手は、8 レーン側から退水する。

7. ウォーミングアップについて

(1) 時間

競技用面(25m 面)	サブ面(23m 面)	公式スタート練習
午前 8:10~9:25	8:10~競技終了後 5 分	①8:30~8:45 ②9:00~9:15

(2) 競技用面(25m 面)

- ① 水中、ダッシュレーンとともに、順番待ちの間は最低 1m の間隔を空けて並び、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ② ダッシュレーンは 1, 2, 7, 8 レーンとする。1 列で間隔を空けて並ぶこと。ダッシュレーンは一方通行で途中で止まらずに利用する。プール使用状況により随時レーンを増減することがある。
- ③ ダッシュレーン以外での飛び込みを禁止する。
- ④ ダッシュレーンの代理人による順番待ちや横入りを禁止する。
- ⑤ ビート板・プルブイ・シュノーケルのみ使用できる。
- ⑥ ホイッスルは、電子ホイッスルのみ使用できる。

(3) サブ面(23m 面)

- ① 順番待ちの間は前後に最低 1m の間隔を空けて並び、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ② 飛び込みを禁止する。
- ③ ビート板・プルブイ・シュノーケルのみ使用できる。
- ④ ホイッスルは、電子ホイッスルのみ使用できる。ただし、競技中は使用を禁止する。

8. プールサイドのエリア分けについて

- (1) 選手は、レース後 8 レーン側プールサイドを通り、サブプール面まで移動すること。その際、会話は控えること。
- (2) 8 レーン側 25m 付近からコーチエリアを設ける。コーチエリアには選手は入ることはできない。コーチと選手のレース前後の会話はコーチエリア外で行い、コーチ・選手ともマスクを着用した状態で距離を保って行うこと。
- (3) サブプール面脇に荷物置き場を設ける。荷物置き場に座って滞留しないようにすること。サブプール面プールサイドには練習をする選手、レース前後の選手以外は滞在しないこと。

9. 会場の使用について

選手・スタッフへの周知徹底をお願いいたします。

- (1) 貴重品の管理は、各所属で責任を持って行う。
- (2) 更衣室内のロッカーを使用することは、できない。着替えのみに使用し、荷物を置かないこと。更衣室での滞在時間は必要最小限とし、選手控え場所として使用しないこと。着替え中もマスクを着用すること。騒いだり、大きな声で会話するなどしないこと。
- (3) ゴミは各所属でビニール袋を用意して持ち帰る(感染予防のため密封して持ち帰る)。
- (4) チーム・役員など、大会関係者の車は指定駐車場(第6駐車場)を利用する。
- (5) 保護者が直接、茨城県水泳連盟・大会会場への電話や問い合わせはしない。問い合わせは、すべて所属担当コーチから茨城県水泳連盟にFAXで確認をする。
①競技会の質問 ②忘れ物の問い合わせ(大会終了後7日以内) ③その他
- (6) 参加チーム引率責任者が参加選手の行動に対して責任を負うものとする。
- (7) プールサイドは、土足厳禁です。裸足もしくは、上履き(サンダル可)とする。靴を入れる袋を各自用意し使用すること。食事は禁止。
- (8) ロビーは、裸足、水着での移動は禁止されているので、衣服を着用し、履物を履いて移動する。役員室、多目的室は土足厳禁。上履きのままロビーや外へ行かないこと。
- (9) 館内のエレベーターは使用しない。

10. 注意事項・その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための注意点および参加条件、要項、二次要項等に記載の感染対策上等の注意点を、参加選手・スタッフに周知徹底し、厳守すること。
- (2) 自分の競技が終了し次第、速やかに退館すること。
- (3) チームバスでの移動を極力自粛すること。公共交通機関を利用する場合でも、感染予防に十分留意すること。
- (4) 水着及び身体へのテーピングは、禁止されている。但し、治療目的の場合は、審判長の許可を得ること。
- (5) 「競技競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規程」を厳守すること。
https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r_k16_20190310.pdf
- (6) 選手は衣服を入れる袋を持参すること。レース時、袋に衣服・マスク(衣服のポケットに入れてもよい)を入れ、脱衣ボックスに入れること。袋は上記のロゴマーク規定に違反しないよう留意すること。
- (7) 選手は泳ぐとき以外は原則的にマスクを着用すること。レース前は招集所まで着用し、レース後は呼吸が整い次第着用する。招集所の最前列ではレース準備のためマスクを外すことができるが、会話を控えること。レース後はマスクを着用するまで会話は控えること。
- (8) コーチ・役員も原則的にマスク着用とする。ただし、熱中症になりやすい状況では、周囲の人と十分に距離を取れることを確認し、マスクを外すこと。
- (9) 大きな声での会話や声を出しての応援をしないこと。コーチは、練習時の大きな声での指示を控えること。
- (10) ホイッスルは、電子ホイッスルのみ使用できる。ただし、競技中は使用を禁止する。
- (11) 食事は、人との距離を保ち会話を控えて行うこと。
- (12) 所属ごとに、控え場所に体温計・アルコール消毒薬等を用意し、適宜利用すること。
- (13) 感染予防対策についての詳細は、ホームページに掲載の別紙を参照のこと。大会中に体調不良者が出た場合は、速やかに大会本部に報告する。
- (14) 体調不良、スイミングクラブ休館、チームの出場辞退により棄権する場合は、参加費を返金する。大会総務へ申し出ること。
- (15) チームが出場を辞退する場合は、大会前日までに県水泳連盟に連絡すること。参加費は返金する。
- (16) 「スイムレコードモバイル 超速報(有料 月額利用料 315円(税込))」及び動画配信を実施予定。

11. 追加事項

追加事項が発生した場合は、茨城県水泳連盟ホームページにて掲載いたします。